【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2008-226887(P2008-226887A)
【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-038
【出願番号】特願2007-58628(P2007-58628)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/027　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　 7/20　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/683　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/30　５３１Ａ
Ｈ０１Ｌ　21/30　５０３Ｄ
Ｈ０１Ｌ　21/30　５０３Ｃ
Ｇ０３Ｆ　 7/20　５２１
Ｈ０１Ｌ　21/68　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月17日(2010.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板を保持する保持装置であって、
前記基板の一方の面を静電力で保持可能な第１面を有し、前記第１面の少なくとも一部が該第１面の法線方向に変形可能な保持部材と、
前記第１面と略平行な平面内で互いに離れた少なくとも３つの位置に配置され、前記第１面に保持された前記基板の前記法線方向への移動を抑える支持部を有する支持部材と、
を備えた保持装置。
【請求項２】
前記少なくとも３つの位置に配置される前記支持部材は、前記第１面の法線方向に固定して配置される請求項１記載の保持装置。
【請求項３】
前記保持部材は、絶縁層及び電極層を備えた可撓性を有するプレート部材を含む請求項１又は２記載の保持装置。
【請求項４】
前記プレート部材は、前記第１面及び該第１面と反対側の第２面を有し、
前記支持部材の支持部は、前記プレート部材の前記第２面の少なくとも３つの位置を支持する請求項３記載の保持装置。
【請求項５】
前記プレート部材の前記第２面の周縁を固定する固定部材を備えた請求項３又は４記載の保持装置。
【請求項６】
前記保持部材は、少なくとも前記法線方向に弾性変形可能な表面を有する絶縁部材と、
前記絶縁部材の前記表面と反対側の裏面と対向する電極部材とを備え、

前記第１面は、前記絶縁部材の表面を含む請求項１又は２記載の保持装置。
【請求項７】
前記支持部材の支持部は、前記基板の一方の面の少なくとも３つの位置を支持する請求項６記載の保持装置。
【請求項８】
前記絶縁部材は、前記支持部材の少なくとも一部を配置するための孔を有する請求項６又は７記載の保持装置。
【請求項９】
前記基板の他方の面に露光光が照射される請求項１～８のいずれか一項記載の保持装置。
【請求項１０】
パターンが形成された第１基板を露光光で照明し、前記第１基板からの前記露光光で感光性を有する第２基板を露光する露光装置であって、
前記第１基板を保持する第１保持装置、及び前記第２基板を保持する第２保持装置を備え、
前記第１保持装置及び前記第２保持装置の少なくとも一方は、請求項１～９のいずれか一項記載の保持装置を含む露光装置。
【請求項１１】
前記露光光は極端紫外光を含む請求項１０記載の露光装置。
【請求項１２】
請求項１０又は１１記載の露光装置を用いて前記第２基板を露光することと、
前記露光された前記第２基板を現像することと、を含むデバイス製造方法。